

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3590800250		
法人名	株式会社JAWA		
事業所名	街かどケアホームりんか		
所在地	山口県岩国市川口町1-8-6		
自己評価作成日	平成26年9月15日	評価結果市町受理日	平成27年3月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成26年10月20日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・個々の生き方(生活リズム)を尊重しその方が在宅で暮らしてこられた生活リズムをそのままりんかでも取り入れている。
- ・タイムスケジュールにとらわれない生活を営んでいる。
- ・食に関してもこだわりを持っており、新鮮な旬の美味しい食材を取り入れるよう、また家庭的な味わいで提供している。
- ・地域貢献として献血運動・清掃活動も積極的に行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者一人ひとりの生活歴やライフスタイル、個性を尊重され、その人らしい暮らし方が続けられるように支援されています。タイムスケジュールにとらわれず、起きたい時起きる、寝たい時寝る、食べたい時間に食事をする、たばこ、お酒など自由で個人を尊重されています。玄関は施錠されておらず、ユニット毎の出入り口は常時開錠されており、エレベーターの利用も自由で、いつでも散歩に出られ、車いすを使って、エレベーターを利用して外出され、一人で買い物に行っておられます。一人で外出出来ない利用者には職員が声かけし、外出できるように支援をされています事業所は、職員の休憩時間の確保を充実され、職員がストレスをためずに働けるように、職場環境の整備に努めておられます。職員同士のコミュニケーションを図っておられ、チームワークよく利用者の支援をされており、利用者も安心して過ごしておられます。三食とも事業所でユニット毎に、地場の新鮮な旬の食材を取り入れて、視覚で季節を感じることが出来るように調理に工夫されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～56で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今まで自分たちが実戦してきていることを言葉に表し、全職員が共有した。	法人の理念に加え、管理者と職員は、利用者が住み慣れた所で安心して過ごすことができるような支援を行いたいという思いを、日常業務の中で確認し合い実践している。地域密着型サービスの意義をふまえた事業所独自の理念の作成にまでは至っていない。	・地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念の作成
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事(祭り・敬老会・町内清掃等)に参加することは勿論、りんかで行われるイベントに地域の方をお誘いしている。	自治会に加入し、町内の秋祭りや敬老会に参加している他、職員は町内清掃活動に参加している。事業所主催行事のチラシを作成し、町内回覧を通じて、地域住民の参加を促している。子供会と協賛して開催した夏祭りには、焼きそば、たこ焼き、輪投げ、くじ当て、スーパーボールすくいなどを催し、約100名以上の参加があり交流している。事業所1階にある地域交流室には子供たちが自由に訪れ、2階にあるソフトクリーム製造機周辺で、利用者と会話するなど交流がある。月1回、施設内にある岩盤浴を地域に開放し、6名くらいの利用があり、利用者と一緒にカラオケ、お茶会をして交流をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内回覧板を通じてりんか便りを出し、りんかのこと認知症のことを知らせている。		
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	会議で外部評価の意義を話し、全職員に全項目について記入してもらった。また、昨年の改善点も話し合いその取り組みについて実施している。	管理者は会議で評価の意義を説明し、全職員に自己評価表をするための書類を配布し、記入してもらい、管理者がまとめている。前回の評価結果を活かして改善に取り組むように努めている。評価項目について、全職員の理解が出来ているとは言えない。	・全職員による評価項目の理解

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	りんかの現状を報告することは勿論だが、実際にご利用者がどう過ごされているか、職員はどう関わっているか見ていただいた。	新たに、隣接する自治会の自治会長、民生委員、福祉員がメンバーに加わって、2ヶ月に1回開催している。利用者の状況、行事報告、ヒヤリハットや事故報告などを行い、意見交換している。民生委員から高齢者に向けた「いきいきサロン」を事業所で開催してはどうかという意見がでている。事業所は、講師の派遣等について社会福祉協議会から情報収集しているなど、意見をサービス向上に活かせるように努めている。	
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護課・とくに社会課(生保の方)と連絡を密にとりことによって状況をより理解してもらう努力をしている。	市担当課とは、日頃から電話や出向いて、連絡を取り、サービスの取り組みや介護保険についてなど、情報交換を行い、協力関係を築くように努めている。地域包括支援センターとは運営推進会議時や出向いて情報交換をして、連携を図っている。	
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入職時の新人研修でも身体拘束について研修を行っているし、事業所内の勉強会でも行っている。玄関は常に鍵がかかっておらず、出入り自由な状態になっている。	身体拘束について、新人研修や毎月の勉強会で学び、すべての職員は正しく理解している。各ユニットの出入り口やエレベーター、玄関に施錠はなく、利用者はシルバーカーや車いすを使って、自由に出入りしている。スピーチロックについては、管理者や職員同士で気をつけ、注意し合っている。	
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新人研修でも虐待防止法の研修を行っているが事業所内の勉強会も実施している。自分たちの行っているケアの見直しもその時している。		
9		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際、権利擁護を利用されている方もおられ、社協と連携をはかっている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時十分に説明させていただいており、疑問点があればその時点で解決している。		
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族との信頼関係は十分図られており、話しやすい雰囲気になっている。いつでも要望・苦情が言える状態になっている。	相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め、契約時に家族に説明している。利用者から意見や要望を聞いたり、面会時や電話、メール、運営推進会議出席時などで、かぞくから意見や要望を聞く機会を設けている。面会の少ない家族には手紙を送付して、意見や要望を聞いている。運営に反映させるまでの意見は出ていない。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の会議の時に職員からの意見を聞く、また随時話しをしに来る職員もいる。	管理者は月1回の会議で職員の意見や提案を聞く機会を設けている他、日常の業務の中で聞いている。シフトの組み換えなどの意見があり、運営に反映させている。	
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者の仕事として働きやすい職場環境を目指している。		
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修(セミナパーク)の参加、法人内の研修、事業所内の勉強会などを行いスキルをあげるよう努めている。	外部研修は情報を職員に伝え、段階に応じて勤務の一環として参加の機会を提供している。参加後は復命報告し、職員は共有している。法人研修は年1回あり、法人理念、高齢者虐待防止について、意識の改革などに参加している。内部研修は会議時に一人ひとりの人格の尊重や尊厳、プライバシーについて、感染症対策など実施している。新人研修は法人で2日間実施し、事業所内でも実施している。	・内部研修の充実
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近辺の事業所との交流もあり、職員も意見交換をしてお互いの良い所を取り入れている。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	何度も足を運び、顔見知りになり、安心して話せる関係を築くよう努めている。		
17		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の話をしっかり聞き、信頼関係が築けるように努めている。		
18		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	なにが必要か、なにを求められているかを見極めるよう努めている。		
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に生活する、共に・・・という関係が築けるように努めている。		
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族のパイプ役のように双方の話を聞き機密な関係が築けるよう努めている。		
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	お友達との外出や遊びに来られることもある。又、今まで通っていた理髪店にも引き続き行かれるように支援している。	地域の人や友人、知人、親族の人などが来訪している。ほぼ毎日コンビニエンスストアに買い物に行く利用者は店員と馴染みの関係になっている。行きつけの美容院を利用したり、馴染みの美容院で販売している化粧品を買いに出かけている。シルバーカーを押して自宅に行き友人と過ごしたり、家族等の協力を得て買い物や外食、温泉への日帰り旅行や一泊旅行、法事や結婚式への出席等、関係が途切れないように支援に取り組んでいる。	
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立されないように職員が気遣い、トラブルが起きそうな時には職員が中を取り持つようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設に移られてもその方の状況・生活の仕方好み等を伝え、できる限り変わりのない生活が出来るよう情報を伝えている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中、話の中からご本人のおもいを引き出し希望に添うように支援する。職員同士共有することで実現できるように努める。	アセスメントシートの活用や日常のケアの中での行動や言葉を介護記録に記録し、思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、会議で話し合い、本人本位に検討している。	
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活リズムを聞きそのままのスタイルで生活できるようにしている。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活の中でご本人の出来る事はしていただくように努めている。		
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の生活の様子や、ご家族の要望等から期間内であっても見直すこともある。会議などでも職員と話しあい、現状に即した介護計画になるよう努めている。	本人の生活歴や思い、家族の希望、主治医の意見などを参考に、計画作成担当者を中心に話し合い、介護計画を作成している。モニタリングや見直しを6ヶ月毎に行い、状況に変化が生じた時はその都度、見直し、現状に即した介護計画を作成している。	
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のケース記録を使用している方もおられ、内容については職員間で共用している。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	かかりつけ医、関係機関と連携をとりながらご本人により良いサービスが提供出来るように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安心して生活して頂けるよう手話通訳の方の力を借りたり、地域の方にイベントを開催していただいたりしている。		
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	これまでのかかりつけ医を希望される方は、なじみの病院で受診されている。受診結果はご家族に報告している。	本人、家族の希望するかかりつけ医を大切にし、事業所との関係を築きながら、家族の協力を得て、受診支援をしている。受診結果は家族に報告し、共有している。急変時はかかりつけ医と連携を図っているなど、適切な医療が受けられるように支援している。	
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ご本人の日常の状態は受診時に医師に報告し、適切な処置を受けている。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お見舞いに行った際、看護師又は医師から経過を聞き、なるべく早くの退院になるよう、ご本人の負担を少なくするよう努めている。		
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で吸う松木についてはご家族の意向を聞いている。その方針に添って職員は最善を尽くしている。かかりつけ医にもご家族の意向、事業所の方針を説明し協力を仰いでいる。	契約時に、事業所でできる対応について本人、家族に説明している。重度化した場合は家族の意向を主治医に伝え、家族の意見を中心に事業所で話し合い、方針を共有して支援に取り組んでいる。	
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	緊急時対応は勉強会も開いており、救命講習も開催している。	ヒヤリハット報告書、事故報告書に記録し、事故発生時の原因を話し合い、今後の取り組みについて記録し、全職員で共有して、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。急変やAED講習の勉強会をしているが、全ての職員が初期対応や応急手当の実践力を身につけるまでには至っていない。	・全職員による応急手当や初期対応の定期的な訓練の実施

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、消防訓練も実施しており、地域の方の協力もお願いしている。また災害時の備蓄品も備えている。	消防署の協力を得て、年2回、通報避難訓練を地域住民の参加を得て実施している。自治会から地域住民の避難場所として事業所を利用したいとの申し出があり、了解している。南海トラフ地震対策の会議に防火管理者が出席し、話し合っている。非常用備蓄品を用意しているなど、地域との協力体制を築いている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念にも掲げられているのでしっかり熟知している。特にトイレ時の声かけにはご本人の尊厳を守る為に注意をはらっている。	法人の運営理念に沿って、一人ひとりの人格の尊重、尊厳の確保について、月1回の会議で管理者は職員に徹底を呼びかけ、確認をしている。誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の話の中でもご本人の思いをくみ取れるようにしているし、口に出されないニーズもひろえるように努めている。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	タイムスケジュールはなく、それぞれの生活リズムで過ごしていただいている。		
40		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で服を選ぶことの出来ない方には、職員と一緒に今日着る服を選んでいく。美容院もその方の希望に添って、その方らしい髪型にしてもらったり、美容師さんに協力していただいている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	新鮮な、旬の食材を取り入れ、まず視覚で食べる事、食べやすいことに力を入れている。一緒に食べる事で雰囲気作りにも気をつけている。	食事は三食とも事業所でユニット毎に、地元の新鮮な旬の食材を取り入れて、視覚で季節を感じることができるように調理に工夫している。利用者は野菜の下ごしらえ、台拭き、食器洗いなどできることを職員と一緒にしている。利用者と職員は同じテーブルを囲んで、同じものを食べている。おやつづくり(マドレーヌ、ロールケーキ、おはぎ)、カニ鍋、手巻きずし、子供会を招待してのソーメン流しなどを行っている。外食は個別に支援し、受診の帰りに回転ずしを食べたり、誕生日は友達同士で和食処を予約して食べるなど、食事を楽しむことのできる支援をしている。	
42		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分不足の方、糖尿病の方、摂食障害、それぞれの方々の様子を観察し、情報を共有しながら日々支援している。		
43		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分でできる方はしていただいている。義歯の手入れができない方は職員が手入れ、管理させていただいている。		
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	職員は排泄パターンを把握しており、周囲にわからないようにトイレへお誘いしている。又、入居前は尿とりパットを使用していた方、リハビリパンツを使用していた方もリハビリパンツ、布パンツになっている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、さりげない声かけや誘導でトイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事においても繊維物をお出ししたり、ヨーグルトを取り入れたりしている。それでも難しい方は、医師と相談し酸化マグネシウムを処方してもらっている。		
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	時間帯は決まっておらず、入りたいときに入っていただくようにしている。入浴スタイルもそれぞれ違うので職員は全員把握できている。	入浴は毎日9時30分から16時頃まで可能で、利用者一人ひとりの希望やタイミング、体調に合わせて何時でも好きな時間に入浴を楽しむことができるように支援をしている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日の生活リズムの中に午睡を入れられる方もいれば、ぜんぜん午睡されない方もいる。疲れが見えればこちらから声かけをさせていただいている。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬表があり、職員はしっかり理解している。薬が変更になれば薬局からの指導も入り全員で共有している。		
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の趣味、楽しみが生かされるよう環境づくりを支援している。	テレビ視聴（歌番組、バラエティ、テニス、サッカー、野球など）日記をつける、社協、ドリル、習字、ぬり絵、アミノも、縫い物、歌を歌う、Uチューブ、タブレット操作、CDを聞く、買物、散歩、花の水やり、シクラメン栽培、演歌歌手コンサート（招待）、プロ野球観戦、野球グッズの購入、野菜の下ごしらえ、食器洗い、季節行事（擦分、バレンタイン、ひな祭り、七夕など）などの利用者の好みやできることを活かして、楽しみごとや活躍できる場面づくりをして、張り合いのある日々が過ごせるように支援している。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お友達と外出される方もいらっしゃる中、ストレスをためてられる方もおり、そういう方にはこちらから外出の声かけをさせていただき、気分転換を計っていただいている。	さんぽあかいもの、花見（錦帯橋の桜や菖蒲、蜂ヶ峰公園のバラ、紅葉谷公園の紅葉、フラワーランドなど）、ドライブ、しおさい公園に海を見に行く、稲刈り作業を見に行くなどの支援をしている。	
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理できる方はお金を所持されており、その中からご自分の好きな物を買われる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	知り合いに手紙を出すこともされるし、携帯電話を所持され自由に交流されている。		
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安心して落ち着いて過ごして頂ける様、温かみのある装飾など取り入れ工夫している。	リビングは明るく、車椅子がゆったり移動できたり、テーブルや椅子をたくさん配置してあるなど、広々としている。大型テレビの前には大型のソファがあり、くつろぐことが出来るなど、利用者が思い思いに過ごせる居場所づくりをしている。オープンキッチンから調理の音や匂いがして、生活感がある。テーブルに季節の花を飾り、季節感を取り入れているなど、居心地良く過ごせるような工夫をしている。	
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆が集まれるようソファを設置したり、自由にすきなところでくつろげるよう工夫している。		
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	普段使われていたタンスや仏壇も置かれている居室もあり、ご本人の家として考えており安心して過ごされている。	仏壇、冷蔵庫、テレビ、籐いす、テーブル、馴染みの布団、衣装ケース、整理ダンス、洋服など使い慣れた物や好みのものを持ち込み、家族の写真や自分がつくった作品を飾って、本人が居心地よく過ごせるように居室づくりの支援をしている。	
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室を間違われる方には名前を掲示したり、トイレの場所を掲示したりしてお一人で行けるよう工夫している。		

2. 目標達成計画

事業所名 街かどケアホームりんか

作成日：平成 27 年 3 月 28 日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	事業所独自の理念を全職で共有しているが、それが、言語化で出来ていず、あいまいな形になっている。	事業所独自の理念の共有と言語化。	会議において、再度理念について、話し合い、共有し言葉として示す。	1ヵ月
2	4	全職員に記入してもらったが、全項目についての理解が乏しい。	評価項目の理解。	会議においても全項目について説明をするが、ガイド集を参考にしたりして、評価項目の意義をしっかりと熟知した上で記入してもらう。	2ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。